

宮城県復興まちづくり通信

Vol.32

平成29年7月に完成した閉上地区災害公営住宅（名取市）

平成29年12月発行

トピック

1. 塩竈市で「塩竈市魚市場」が完成しました

東日本大震災で被災し、平成25年度から建て替え工事を進め順次供用を開始してきた「塩竈市魚市場」が、ついに10月25日完成しました。安全・安心なおいしい魚を提供するだけでなく、市民や観光客が、気軽に足を運べる施設として生まれ変わりました。

また、魚市場の中に塩竈の旬を味わえる食堂と、水産加工品などの特産品を取りそろえた直売所がオープンしました。食堂では刺身の船盛定食や海鮮鍋など、魚市場に水揚げされた新鮮な魚を食べることができます。

さらに、塩竈の水産業・水産加工業を深く理解してもらうための、利用者参加体験型の展示施設も整備を進めており、来春頃完成予定となっています。

10月29日には、完成を記念した「落成記念開放まつり」が開かれ、あいにくの雨にもかかわらず、大勢の訪問客で賑わいました。



完成した塩竈市魚市場



開放まつりの様子

2. 復興交付金 交付可能額通知(第19回目)について

県事業分を含む（単位：億円）

平成29年12月1日に、復興庁から復興交付金に係る第19回目の交付可能額が通知されました。

復興交付金は県内沿岸部の各市町へ326億円(国費ベース)配分され、このうち国土交通省所管事業は227億円(国費ベース)配分されました。

今回の配分では、気仙沼市及び石巻市の被災市街地復興土地地区画整理事業や道路事業などに継続で事業費が配分されました。

配分額の大きい事業種別は、「被災市街地復興土地地区画整理事業」、次いで「道路事業(D-1)」、「災害公営住宅家賃低廉化事業」の順となっています。

市町名	第18回までの交付可能額計		第19回交付可能額		合計		備考
	事業費	国費	事業費	国費	事業費	国費	
気仙沼市	3,513.6	2,831.4	127.7	95.9	3,641.3	2,927.3	沿岸部 (15市町)
南三陸町	1,413.9	1,149.8	8.6	6.5	1,422.5	1,156.3	
石巻市	5,268.4	4,280.2	155.5	122.0	5,424.0	4,402.2	
女川町	1,720.0	1,363.3	49.4	37.8	1,769.3	1,401.2	
東松島市	1,968.8	1,577.5	8.1	6.2	1,976.9	1,583.7	
松島町	260.7	200.0	16.6	12.4	277.3	212.5	
利府町	77.2	59.6	-	-	77.2	59.6	
塩竈市	658.3	513.1	1.9	1.5	660.2	514.6	
七ヶ浜町	419.6	339.9	-	-	419.6	339.9	
多賀城市	537.1	430.7	18.3	14.2	555.4	444.9	
仙台市	2,372.0	1,971.4	-	-	2,372.0	1,971.4	
名取市	1,120.0	889.6	1.9	1.4	1,121.9	891.0	
岩沼市	906.1	712.2	1.9	1.4	908.0	713.6	
巨理町	858.3	680.6	-	-	858.3	680.6	
山元町	1,017.5	806.4	36.1	27.1	1,053.6	833.5	
計	22,111.4	17,805.6	425.9	326.4	22,537.3	18,132.0	

※端数処理により合計と一致しない場合があります

各地域の動き

名取市閑上地区の集合復興公営住宅(第1期・第2期)が完成しました

東日本大震災の津波で大きな被害を受けた名取市閑上地区で、集合住宅(第1期)4棟が平成29年7月に完成し、北側に配置した集合住宅(第2期)も平成29年11月に完成しました。各棟とも鉄筋コンクリート造の6階建てで、総戸数は180戸(第1期:140戸、第2期:40戸)となっています。

建物内には各棟1階に防災倉庫を、第1期の屋外には、広場にかまどベンチや防災トイレなどを整備し、災害時に備えています。

津波発生時には、一時避難先として屋上や共用廊下、集会室(C棟6階)が周辺地域からの避難者にも開放されます。また、全ての階段は屋上まで通じており、周囲からは避難先として視認性の高いシンボリックなデザインとなっています。



名取市閑上地区の集合復興公営住宅

復興まちづくり推進室の取り組み

東京都庁で復興まちづくりパネル展を開催しました

当室では宮城県の現在の復興の様子を広くお知らせするため、被災した沿岸15市町の協力を得ながら「みやぎの復興まちづくりパネル展」を行っています。

今年度も、東京都庁第1本庁舎南展望室において「みやぎの復興まちづくりパネル展 in TOKYO」を平成29年10月18日(水)から20日(金)まで開催しました。都庁での開催は3回目となります。

会場では、沿岸15市町の発災直後から現在の復興まちづくりの状況をパネル化し展示しました。また、国内外から多くの方に宮城県の魅力を発信するため、観光ポスターの掲示や観光パンフットの配布なども行いました。

開催期間中には延べ約7,000名の方にご来場いただき、普段足を運ぶことができない被災地・宮城の現在(いま)を知っていただく機会となりました。

来場者の多くから「被災地の現在を知ることができて良かった」との声をいただいたほか、海外のお客様からも、「高台移転等の計画が興味深い」と市町の復興まちづくりに対して関心を寄せていただきました。

今後も、震災の記憶の風化防止と全国からの御支援に対する感謝の気持ちを込め、沿岸市町と連携しながら「みやぎの復興まちづくりパネル展」を開催していくこととしています。



パネル展開催状況



パネルを見る来場者の方々

編集・発行

宮城県土木部復興まちづくり推進室

〒980-8570

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

TEL 022-211-3207

FAX 022-211-3295

fukumachi@pref.miyagi.lg.jp



伊達政宗公生誕450年



宮城県土木部